

単位会長等連合会 役員研修視察



七月十九、二十日、会員の親睦と研修を目的に会員十五名の参加により実施されました。本年度は、羽幌町、留萌町、増毛町の留萌方面を研修視察してきました。

一日目は、道の駅おびら鯉番屋で休憩をとり、はぼろ温泉サンセットプラザで昼食をし、羽幌でパークゴルフを楽しみました。はぼろバラ園、北海道海鳥センターを見学し、それぞれ楽しみました。夜には、宴会時に皆さんで



レクリエーションを行い大変盛り上がりました。二日目は、上平グリーンヒルウィンドファーム風力発電を見学し、苫前町役場の方より説明を聞き、皆さん熱心に

わがクラブ紹介

朝日さくら会

会長 吉本 信昭



町の都市開発により宅地増成が進められ、朝日四丁目は急激に住宅が増加した地域であります。朝日町内会から独立し、朝日四丁目町内会となりました。

このことから、高齢者のためのふれあいや活動の場としての組織がありませんでした。

平成三年十月ころから老人クラブが話題になり、町内会で老人クラブ設立を提起し、諸々の話し合いを重ね、平成四年四月に五十五人が集まり、会員相互の親睦と融和を基調とし、楽しい人間関係をつくり地域発表に寄与するのを目的として発足、現在に至っております。

質問をされていました。その後、増毛町の國稀酒造を視察し、砂川を経由して無事に帰町しました。参加された皆さん、大変お疲れさまでした。

ます。

現在の会員は六十四名と、ここ数年平行線を辿っていますが、新規会員確保のため、入会案内を町内会回覧板により募集しているところです。

ここで年間の主な取り組みをお話します。

四月の総会、観桜会、観楓会、日帰り旅行二回、忘年会・新年会、夏五月二回のパークゴルフ、娯楽会(脳トレマジシャン・趣味の会)、年間五回の定例会では、町保健福祉課、社会福祉協議会、その他団体の協力により体力の維持、脳の活性化のための指導をいただき、他各種ゲームなどを取り入れ、特に今年八月からは百歳体操を各行事の始めに十五分程度行っているところです。

又、昼食は手弁当の他、女性部の手作り料理などで楽しい時を過ごしております。

今後も町内会、町老人クラブ連合会、社会福祉協議会のご指導のもと、会員一同健康で、元気に楽しく一日でも長生き出来る様努力していきたいと思っております。

ペットボトルキャップ等選別



七月二十八日、総合福祉センター「しゃるる」において、清涼飲料水等のペットボトルキャップ等の選別作業が行われました。

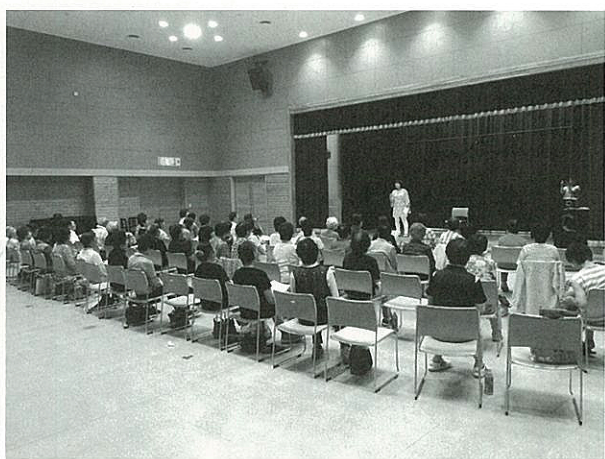
学校の夏休みを利用した、体験ボランティアの中高生等と一緒に、ペットボトルキャップとアルミ缶のプルタブの選別作業を行いました。

ペットボトルキャップは町外の回収業者へ搬入し、福祉事業へ寄付され、アルミ缶のプルタブは、町内旭台の工業団地にあるヘンケルエイブルスティックジャパン北海道工場場で受け入れをしてもらい、後に回収量に応じて車椅子と交換されます。

女性研修会

八月一日、総合福祉センター「しゃるる」において、「歌や音楽で、楽しい時間を！音楽療法を体験」と題し、NPO法人日本ナラティブ音楽療法協会 音楽心理士・音

楽療法士 池下 美智代氏を招き実施しました。参加者五十五名で、楽器を持ちながら、お腹から声を出して歌い、全身を使いリズムに合わせて踊り心も体もリフレッシュしました。



空知管内老人のつどい

八月三十日に、栗山町カルチャープラザ「Eki」で管内十四町、二百十八名の参加で開催されました。

始めに老人福祉功労者表彰式が行われ、栗山町からは三名が表彰されました。

相田 茂様(万年クラブ)
(故)田中 實様(万年クラブ)

市川美恵子様(雨煙ぶつみ長生会)続いて、お昼のアトラクションでは、コロ・リリオさんによる合唱が披露されました。各町からの演芸発表では、今年北学田喜楽会の荻野一郎さんによる歌謡「北の出世船」を、鳩山長寿会の山越澄江さん、山下 テル子さん、島 栄美子さん、青木 孝子

さん、平田 三津子さんによる舞踊「きよしのソーラン節」を披露し観客を魅了しました。



あとがき

栗老連及び単位クラブ各種情報を年二回、九月と三月発行、各単位クラブ様には協力厚く御礼申し上げます。老後の幸せは、自らの手で創り出そう、仲間づくりを基本として、「生きがい」「健康」「地域づくり」を目指した幅広い活動を実践してきました。今こそ、過去の活動や経験を活かし、地域社会の担い手として、関係団体と手を携えて新たな絆社会を構築する一翼を担う必要があり、支えられから支え合う高齢者に、健康寿命を伸ばし、仲間づくりから地域作りの推進を、目的にしたいと願っている一員です。

総務・研修部会長